

授業科目名	英語 I	開講時期 1年次前期	単位数 (時間) 2 単位 (30 時間)	必修/選択 必修
担当教員名 Tim Ernst	担当教員所属/研究室 非常勤講師		オフィスアワー	
授業の 目的・目標	目的 目標 To overcome shyness in speaking English and learn new words and phrases			
主な授業内容 (担当教員)				
Introduction to useful vocabulary words. Practice asking basic questions and giving good answers. Work with worksheets to improve English skills. To overcome shyness in communicating in basic English conversation.				
成績評価方法	Attendance, class participation, homework and simple tests			
テキスト	なし			
参考文献				
履修にあつ ての留意点				
備 考	Have fun learning to speak English			

授業科目名	赤十字概論	開講時期 1年次前期	単位数(時間) 2単位(30時間)	必修/選択 必修
担当教員名 井上忠男	担当教員所属/研究室 看護学部/1号館3階研究室20		オフィスアワー 毎週水曜日:13:00~15:00	
授業の 目的・目標	<p>目的 アンリ・デュナンの業績と赤十字の歴史・理念・基本原則から学び、人道を実践する介護者として必要な資質を養う。</p> <p>目標 授業では、国際赤十字・赤新月運動の起源、歴史、理念、基本原則及び日本赤十字社の事業としくみを理解する。特に国際人道法の内容と人道と人権の概念、赤十字標章の適正な使用方法について理解し、人間尊重の文化の担い手としての自覚を養う。</p>			
主な授業内容(担当教員)				
<p>第一回 : 国際赤十字・赤新月運動の誕生 ・ アンリ・デュナンの人と功績 ・ 赤十字とジュネーブ条約の誕生</p> <p>第二回 : 赤十字と国際人道法の発展</p> <p>第三回 : 日本赤十字社の誕生 ・ 佐野常民の人と功績</p> <p>第四回 : 国際赤十字・赤新月運動のしくみと活動(1)</p> <p>第五回 : 国際赤十字・赤新月運動のしくみと活動(2)</p> <p>第六回 : 赤十字の基本原則(1) ・ 人道主義とは何か、なぜ原則が必要か、人道の原則</p> <p>第七回 : 赤十字の基本原則(2) ・ 公平、中立の原則</p> <p>第八回 : 赤十字の基本原則(3) ・ 独立、奉仕、単一、世界性の原則</p> <p>第九回 : 日本赤十字社のしくみと活動(1)</p> <p>第十回 : 国際人道法の基礎知識—世界の戦争の現実と戦争犠牲者の保護について</p> <p>第十一回 : 赤十字標章の適正使用の知識 ・ 赤十字マークの正しい使用方法</p> <p>第十二回 : 有事の赤十字社の役割 ・ 医療関係者の役割と権利義務</p> <p>第十三回 : 赤十字人に求められる資質とは(1)</p> <p>第十四回 : 赤十字人に求められる資質とは(2) 人道の4つの敵</p> <p>第十五回 : 試験</p>				
成績評価方法	試験及びレポート並びに出席状況を総合して評価			
テキスト	<p>「解説 赤十字の基本原則」J・ピクテ(東信堂)</p> <p>「赤十字と国際人道法」(日本赤十字社)</p> <p>「赤十字のしくみと活動」(日本赤十字社)</p>			
参考文献	<p>『リルヴェル』の思い出』アンリ・デュナン 木内利三郎訳(日本赤十字社)</p> <p>『赤十字のしくみと活動』</p> <p>その他参考文献は、その都度紹介する。</p>			
履修にあたっての留意点	テキストは熟読すること。授業における発表、発言を重視するので、常に「考える姿勢」を持ち授業に臨むこと。日本赤十字社のホームページ、新聞等の国際情勢欄には目を通すこと。			
備考	赤十字関連映画の上映会を別途設定する。			